

とうべつ

# 議会だより

No 132

平成15年2月1日発行



初稽古にいどむ ちびっこ剣士たち (1月18日 当別剣道連盟鏡開きにて)

## 第6回 定例会

平成14年12月

太美出張所設置条例を改正・議案審議 ————— 2

平成13年度各会計決算 ————— 4

委員会報告 ————— 6

クエスチョン?  一般質問 ————— 8~14

出張所業務を郵便局へ委託

# 太美出張所設置条例を改正

一般会計1600万円増

総額103億2500万円に

平成十四年第六回定例会は、十二月十日から十三日（十一日は休会）までの四日間の会期で開催されました。一般会計、特別会計の補正予算、また、平成十三年度決算審査特別委員会報告をはじめ、各常任委員会報告がされました。条例の改正では、太美出張所の設置条例の一部改正や事務の取扱いに関する規約の制定などを審議し、提案された議案全てを原案のとおり可決しました。

一般会計補正予算は、一、六〇〇万円増額し、これを可決しました。歳出の主なものとしては、介護保険特別会計への繰出金として一、五八九万円、道路維持費として六〇七万円、園生5号線の道路新設改良費として一、一九六万円を増額補正し、また、庁内LAN整備導入事業などの債務負担行為の補正も含め、総額一〇三億二、五〇〇万円にしました。

また、国民健康保険特別会計は二四五万円の減額、介護保険特別会計は保険給付費を主なものとして八、三九〇万円の増額、下水道事業特別会計では一億九、七九三万円の減額、水道事業会計では、四一七万円の増額補正をし、これを可決しました。

## 太美出張所

を移転

## 第5回臨時議会

H14・11・25

条例の一部改正が提案され、議会議員、町長、助役、教育長、一般職員の期末手当支給率の引き下げ及び一般職員の月額給料及び扶養手当額の改正など、議案五件が原案可決されました。

- 当別町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 当別町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 当別町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 当別町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 当別町水道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定について

## 堀 梅治議員 総務大臣感謝状を受賞



平成十四年十二月十日、第六回定例会に先だち、総務大臣感謝状を受けた堀梅治議員に感謝状の伝達が内海議長より行なわれました。今回の受賞は、地方議会議員として三十五年以上在職し、永年にわたり地方自治の発展に功労のあった方に贈られるものです。永年のご苦勞に対し、感謝とお祝いを申し上げ、今後一層のご活躍を祈念いたします。



条例の改正では、太美出張所業務の一部を太美郵便局に委託するため、設置条例の一部改正、当別町の特定の事務の太美郵便局における取扱いに関する規約の制定などが提案され、これを可決しました。

この他定例会で可決した議案は、次のとおりです。

- 当別町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 町の区域の設定について



## 優良職員支庁長表彰を受賞

—市川勉議会事務局長—

平成十五年一月二十一日、道庁別館支庁長室において、石狩管内の市町村政に尽力した議員、職員を表彰する石狩支庁管内市町村の自治功勞賞、優良職員支庁長表彰が行なわれ、市川勉当別町議会事務局長が優良職員表彰を受賞されました。

- 石狩西部広域水道企業団規約の変更の協議について
- 人権擁護委員の候補者の推薦について

## 一般質問に 7議員登壇

一般質問は、十二月十二日、十三日の二日間行なわれました。

堀梅治議員、山田明美議員、白木和廣議員、後藤正洋議員、岡野喜代治議員、小野広実議員、高谷茂議員の七名が登壇

## 13年度決算 を認定

先に慎重審議された平成十三年度当別町各会計決算審査特別委員会の報告が村上弘志委員長よりされ、議会はこれを認定しました。

詳しくは四ページから五ページに掲載しています。

し、町政をただしました。詳しくは、八ページから十四ページに掲載しています。

# 町づくりはどとう生かされたのか

## 総額136億円

## 平成13年度の決算を認定

平成十三年度当別町一般会計、国民健康保険特別会計、水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、水道事業会計、介護サービス事業特別会計決算について、平成十四年十一月一日、五日、六日、七日、八日、十三日の六日間に亘り、慎重審査の結果、認定されました。

公共工事発注に当たっては法令に基づき適切な指導に努める



北栄通の工事の様子



利用者増を図るため、町内外へのPR及び案内看板の整備を

## 人権擁護委員に 見上良太郎氏



見上良太郎氏  
(太美町 55歳)

人権擁護委員の三富女里子氏が、平成15年1月31日をもって任期満了となることから、見上良太郎氏を推薦することについて町長から提案があり、議会は満場一致で同意しました。

## 請願・陳情

本定例会では、2件の請願書及び4件の陳情書が提出され、それぞれ所管の委員会に付託されました。

### 〈産業常任委員会〉

#### □働くルールの確立を国に求める陳情書

陳情団体

札幌地区労働組合総連合

議長 赤坂 正信

#### □WTO農業交渉等に関する請願書

請願団体

北石狩農業協同組合

代表理事組合長 川原 博志

石狩地区農業共済組合

組合長理事 谷口 清隆

当別土地改良区

理事長 山田 智

篠津中央土地改良区

理事長 南部 重雄

当別町農民同盟

委員長 桧山 喜三

紹介議員 前澤 昭治

堀 梅治

岡野喜代治

#### □「失業対策の拡充と通年雇用安定給付金制度の存続・改善等を求める要望意見書」の提出に関する請願

請願団体

地元で働く仕事と90日支給復活を要求する当別の会

代表委員 山田恵美子

紹介議員 堀 梅治

柏樹 正

### 〈文教厚生常任委員会〉

#### □社会保障制度緊急改善要求に向けた国の財政措置を求める陳情書

陳情団体

札幌地区労働組合総連合

議長 赤坂 正信

#### □循環社会をめざした廃棄物政策を求める陳情

陳情団体

生活クラブ生活協同組合

北斗支部 渡辺 真理

### 〈建設常任委員会〉

#### □道央圏連絡道路改築に関する陳情書

陳情団体

西当別連絡協議会

会長 遠藤 勝



平成13年度に完成したポッポ公園



公共施設として適切な管理業務を行ない、「白樺コミセン」という名称の周知を図る



中小屋スキー場の運営は、利用者のニーズに応える検討を

# 第6回定例会 委員会報告

本定例会において、総務常任委員会、産業常任委員会、建設常任委員会より委員会報告がされました。

## 総務常任委員会

### 町内会館の整備に関する陳情書

第4次総合計画の中でも、コミュニティ活動の促進がうたわれており、地域交流・文化活動の拠点となる地域集合施設の整備拡充が施策となっているが、未整備地区の実行性について計画的なものが示されていない。

現在の財政状況下を鑑み、「一町内一会館」の要望の精神は十分理解出来るので、理事者は願意に沿うように努力されたい。

本件、趣旨採択とすることが適当と認めた。(一趣旨抜粋一)

平成14年12月2日 委員長 柏樹 正



既存の会館においても、建てかえ時期を迎えている

## 産業常任委員会

### 働くルールの確立を国に求める陳情書

長引く不況により、労働者の生活は一段と深刻化し、今求められるのは、「整理解雇の4要件」を含む解雇規制の法律の制定であり、労働者保護の法律の整備である。国は深刻な雇用・失業状況を1日も早く打開し、景気を回復させるために緊急に施策を講ずるべきである。本件、願意妥当と認め採択することが適当と認めた。(一趣旨抜粋一)

平成14年12月11日 委員長 前澤 昭治

### WTO農業交渉等に関する請願書

農産物貿易は、多様な農業の共存を柱とする我が国の提案が達成できるよう、国をあげての運動を展開すべきである。農業の多面的機能等が配慮されたモダリティの確立、MA制度の改善、米の総合的な国境措置の堅持、関税における品目ごとに柔軟性を確保できる削減方式等は、絶対譲歩できない重要課題である。自由貿易協定においても、国内の関心品目に影響を及ぼすことなく対応するとともに、将来の食料需給に関しても、国民の懸念に十分配慮し対応すべきである。本件、願意妥当と認め採択することが適当と認めた。(一趣旨抜粋一)

平成14年12月11日 委員長 前澤 昭治

### 「失業対策の拡充と通年雇用安定給付金制度の存続・改善等を求める要望意見書」の提出に関する請願

冬期技能講習助成給付金及び冬期雇用安定奨励金は、平成15年度をもって期限切れとなり、先行き不安な状況に追い込まれることが推測される。季節労働者の雇用と生活安定を図るため、国は冬期雇用援護制度の存続・延長し、雇用保険の失業給付の改善及び雇用の場の確保を図るとともに、雇用効果の高い生活・福祉関連の公共事業の拡大、地元建設業者の受注機会の確保に努めるべきである。本件、願意妥当と認め採択することが適当と認めた。(一趣旨抜粋一)

平成14年12月11日 委員長 前澤 昭治



平成14年度冬期技能講習会の様子

議

会

の

平成14年10月  
～  
平成14年12月

う

ご

き

- 10・2～3 意見書提出（東京都）
- 10・16 愛知県一色町議会来町
- 10・16 山口県小郡町議会来町
- 10・21 議会広報特別委員会
- 10・21 建設常任委員会
- 10・23 文教厚生常任委員会
- 10・24 産業常任委員会
- 10・25 議会広報特別委員会
- 10・31 子ども議会
- 10・31 建設常任委員会
- 11・1 議会運営委員会
- 11・1～13 平成13年度当別町各会計決算審査  
(2～4・ 特別委員会  
9～12休会)
- 11・14 議会運営委員会
- 11・14 比布町議会来町
- 11・18～21 第46回町村議会議長全国大会及び  
第27回豪雪地帯町村議会議長  
全国大会出席（東京都）
- 11・18 総務常任委員会
- 11・18 文教厚生常任委員会
- 11・25 第5回臨時会
- 11・25 議会運営委員会
- 11・29 産業常任委員会
- 11・29 議会運営委員会
- 12・2 総務常任委員会
- 12・3 文教厚生常任委員会
- 12・4 建設常任委員会
- 12・5 議会運営委員会
- 12・10～13 第6回定例会  
(休会11日)
- 12・10 議会運営委員会
- 12・11 産業常任委員会
- 12・11 建設常任委員会
- 12・13 議会運営委員会
- 12・19～20 意見書提出（東京都）

## 建設常任委員会

### 道央圏連絡道路改築に関する陳情書

札幌大橋が開通して以来、札幌大橋よりJR陸橋間の道々札幌当別線との交差点付近では、縦断勾配が急なことや道路の幅員が十分でないこと、冬期間は吹雪の常襲地帯ということもあり、交通事故が多発している。

平成15年4月には、道央圏連絡道路当別バイパスも札幌大橋から国道275号まで供用開始されることから、これまで以上の交通量の増加や、それらに伴う交通渋滞・交通事故等の増加も予想される。

町理事者は緊急対策としては防雪柵の増設や路面凍結に応じた砂まき等の対応をさらに要請し、同時に、これら危険地帯の抜本的な改善策である道路勾配の見直し等の改修も含め、早期に関係機関に強く要請し、運動を展開すべきである。

本件、願意妥当と認め採択することが適当と認めた。（一趣旨抜粋）

平成14年12月11日 委員長 島田 裕司



早急な対策が求められる

## 町内中学生による「子ども議会」が開催

平成14年10月31日、当別町で初の「子ども議会」が開催されました。町内4校から24名が参加。うち10名が町政に対する質問を熱心に行ない、町長、教育長から、わかりやすく丁寧な答弁がされました。詳しくは町広報12月号に掲載されております。



## 第6回定例会

### 議員提案

本定例会において、議員提案1件が上程され、採決の結果、全会一致で可決されました。

#### 議員提案第1号

□森林による温暖化防止などの施策の推進に関する意見書の提出について

提出者・千葉 莊康

【原案可決】

命と暮らしを守る立場に  
立った二〇〇三年度予算を



梅治 議員

町長

より公平な予算執行に努める

問 日本共産党の次の緊急四つの提案について町長の考え方を伺いします。

- 一、社会保障の負担増の中止
- 一、庶民の増税反対
- 一、中小企業つぶしの政策の転換
- 一、雇用と失業対策の充実

町長 これは国政の場で真剣に議論していただき、負担増のない施策が一番よいと思っています。雇用・失業対策については、本議会でも議員提案があり、議決されていることについて、理解をしています。

問 当別のほこり当別

川、七千町歩の水田、三本の国道、六つの駅、先

人が築いたこの町を未来に向かって光輝させる責任が私達にあり軽々しく合併するべきでないと考えますが町長の考えをお聞きしたい。

町長 市町村合併は自主性を尊重し、特に小規模町村の権利を縮小することなく、合併後の地方自治体のあり方を鮮明に表明すべきであるという考えの中、現在、検討委員会でも真剣な結論を出す作業をしている。

問 幸町など大型公共事業を先送りして、子供やお年寄りを大切に予算を優先しながら財政の

たてなおしをしてはと考えますが町長はどんな展望をお持ちですか。

町長 大幅な財源不足が見込まれ、財源確保が今後の大きな課題である。新年度予算編成は政策評価により事務事業を見直し、当別町の付加価値を高めるために知恵を出し合い、地域住民提案型のパートナーシップによるまちづくりを目指していきたい。

を継続している。

問 十一月三日に発表された米政策大綱は十町以下のお米つくり農家を切り捨てる方向を示しています。これは暗い夜道に明りを失った思いを農民に与えています。町長はこんな不安をいなく農民にどんな展望を示すのですか、お伺いいたします。

町長 今回の大綱が決定されたことを契機に、地域農業を再構築するため、生産者、JAは農家経済の危機意識を持ち、真剣な議論を望みたい。行政や生産者団体、農協、改良区を中心に、当別の米づくり、産地づくりをどうするか、そういう生産組織をつくる指導

をしながら、生産者団体や生産者の真剣な声が行政に届くよう努力を続けていきたい。

問 大店舗法の施行によって当別町の商店も大変なことになっているとお聞きしております。町長はどんな展望をお持ちですか、お伺いいたします。

町長 町内の大規模店舗と同列に競争することよりも、商店街が従来の商業圏域の権利を維持するために独自の魅力を発掘することが重要である。今後、個店ごとの個性を発揮し、自らが活性化するための施策の実現に向けて、商工会等とも連携をしながら支援していきたい。



住民生活にかかせない排雪

問 当別町の大型校の一部授業が崩壊しているとお聞きしておりますが教育長はどう認識をし、どう対応しようとしているのかお伺いします。

教育長 価値観が多様化し、色々な問題が起こりやすい状況を踏まえ、校長会や教頭会、児童生徒連絡協議会などの情報により実態を把握し、問題が起きた時には、教育委員会の指導や助言、職員の派遣などにより進めてきている。

緊急な問題の対応については、スクールカウンセラーや心の教育相談員などの助言も要請しながら、様々な対応を組み合わせ、進めてまいります。

問 町村道の管理責任についてどこまで認識をしているのかお伺いします。

町長 道路は地域の財産であることから、地域の方も進んで維持管理に手を貸すような考えになっただけのような行政をすることも大切だと思っています。



当別断層について  
住民説明を行なうべきだ



山田 明美 議員

町長

慎重な対応が必要である

子ども相談窓口の

充実を

問 子どもたちが学校や家庭で抱えている問題に対し、相談できる状況が必要です。

川西市においては、全国で初めて一九九八年に川西市子ども人権オンブズパーソン条例が市議会で可決され、一九九九年から第三者機関として三人のオンブズパーソンと三人の調査相談員が子どもたちを守るための活動を行なっています。毎年、小学校五・六年生と中学一・二年生を対象とした実感調査を行なっていますが、小学校五年生で「はじめられた」と答えているのは約四〇%、中学生

でも約二〇%の子供たちが答えています。また、「生きていくのがとてもつらい」と答える子どもがクラスで一人から二人はいることです。

一人一人の子どもが人間として大切にされる社会をつくっていくことは、大人としての責任です。話をしっかり聞いて、受けとめてくれる人が子どもたちには必要です。また、親や教員にとっても、いつでも子どもの相談ができる安心感が得られます。子どもたちが安心して相談できる機関を当別町の中で設置していくべきです。子どもたちに関する相談窓口として機能充実を図るために

も、わかりやすい広報、学校での啓発活動が必要ですが、どのように考えているのか伺います。さらに子どもの実感調査についての考えも伺います。

また、電話相談窓口については、当別町以外でも北海道教育委員会や道の関係の中で、「子ども何でも相談」、「いじめ相談電話」

や、道警の方で「少年相談110番」等もあり、それぞれ電話番号が町内の学校等を通して子供たちに伝わっているが、今後さらに教育委員会だよりや、町広報を通じて保護者や子どもたちに伝えるよう、より身近な相談窓口になるように努めていきたい。

実感調査については、生徒指導に関して、児童生徒の思いや感じ方、置かれている状況の現状と実態を把握することから各学校や学級で話し合い



電話相談窓口を設ける少年指導センター

や作文、アンケートなどの実態把握に努めている。

生徒指導の成果は、児童生徒の実態をどう正確に把握しているか、関わる人が多いので、各学校や研修会での実態の把握のあり方について研修を進めているが、教育委員会として、今後ともその重要性について各学校に伝えていく。

当別断層の住民説明を

問 当別町地域防災計画について、当別断層が最近四五〇〇年の間に活動した痕跡がないため、千年度程度の誤差はあるが、地震に対して注意が必要な時期に入ったと見えます。北海道防災担当課においても、当別町を中心とする周辺市町村防災担当者に対し、説明会を開催し、当別断層の概要説明や地域住民が心がける事項の周知、市町村地域防災計画の見直しについて指導する予定であると聞いています。

当別町地域防災計画の見直しを早急に行なうべきです。さらに住民に対する説明も行なうべきです。当別断層の近い位置に当別青山交流会館があります。北海道において環境の村事業の中核的施設として活用することになっていきます。地震対策における建物の安全性をどのように考え整備していくのか伺います。

する説明も行なうべきです。

町長 地域防災計画であるが、阪神大震災の後に関係法令に基づき、北海道と協議を行ない、大幅な改正作業を経て策定したものである。当然、地震の災害も想定した内容になっていくので、現在、防災計画の骨子が変わるものではない。

また、住民との情報共有を推し進める必要性を認めるものの、いたずらに住民の不安や危機感をおおることになりかねないので、この取り扱いは慎重を期す必要がある。

青山交流館の地震対策については、今後、施設の改修に当たっては、地震対策など建物の安全性を確保すべく建築基準に適合した設計施工となるものと考えている。

「地産地消」をスローガンとして、  
自立、創造、活性化を計るべきである



白木 和廣 議員

町長 住民活動の推進について検討する

問 地産とは地元にあるもの、地元で産出されるものを含んだもの、農産物、特産物、加工品、人的資源の全てを意味し、地消とは地元で消費するという形もあるが、町民がこぞって支援したり、応援したり、参加したり、紹介するといった町民が出来るすべてのものを地消で表現する。

この運動を全町の展開するために、行政が担当部署の垣根を越えた、横断的に、前例主義でなく、自由に活動し、地域の自立、創造、活性を図るための後方支援する部署、または専門職の検討をすべきである。  
例えば農産品の加工で



いも団子を商品化した「いもだんご汁」

米を粉にしてパンを焼き、学校給食及び家庭で消費。  
じゃがいもからいも団子にして、いも団子汁として商品化して販売。  
野菜農家の直売及び姉

妹都市交流での販売。  
町内から出る生ゴミを集めて資料化し、鶏を飼ったり、堆肥化して有機野菜を生産し、内発型のビジネスを創造する。  
廃タイヤを熱源として安価な暖房で温室栽培に活用する。  
文化的な面では全道一の切花生産地として花の出荷だけでなく、文化及びアートも創造し発信すべきである。  
その他の文化活動についても町民が参加支援、応援する。  
「町民参加型」の活気に満ちた町になる為にも専門職の配置を検討すべき

である。  
町長 最近では町内でもフクロウの会による活発な活動、あるいは、いも団子汁の商品化、町の石づくり風倉庫の活用プランなど、住民のいろいろな活動がある。  
また、トウキビをはじめ、道外で農産物の直売や、いろいろな活動が見えてきている。  
白木議員もみずからの体験で、生ごみから鶏の飼育についてのご発言は、非常に貴重な体験を交えた意見であり、住民の活動と行政を具体的にどう結びつけていくかという提言は非常にありがたい話だと受けとめている。  
今後、これを行政がどういう形で支援することが、より住民の活動や運動を有効的にするかという点について、部内で検討していきたいと思っている。  
また、パンの文化と米の文化について、当別町では今年、十六万俵、十五万人分以上の米が生産されているが、当別だけで全部消費しても相当余



妹都市岩出山町での野菜販売

る状況にあり、内地米が入ってきている実情もあると思うが、そういう中で米の消費を増やすためには、米をパンにするという点も非常に重要なアイデアである。  
今年のレクサンド訪問の中で、私は当別の米でレクサンドのパン焼釜を

使い、パンを焼くということに非常に興味があるのと話をしてくれているので、適当な時期に実現していきたいという思いはある。  
住民の動きを速やかに行政が推進していく方法等について前向きに検討したいと思っている。

環境基本条例の制定を



後藤 正洋 議員

町長 環境施策の総合的推進をする上で検討していきたい

基礎学力の向上を

問 国は児童生徒のゆとり教育を推進するため、学習時間の削減や、相対評価から絶対評価へ移行しましたが、児童生徒個々の客観的な学力が見えづらくなり、特に基礎学力の低下が懸念されています。

児童生徒の基礎的な学習の到達度を客観的に把握する方が必要と私は思いますが、この方が実施されているのか伺いたい。

他府県では既に基礎・基本の定着状況の調査を行なっています。基礎学力向上のために、各学校の指導内容や指導方法の改善、充実のための具体

的報告書が作られ、各学校ではこれを参考に基礎・基本の指導内容やその方法の改善計画を作成して、学校全体や児童生徒個々の課題解決に努めていると聞いています。

今後、石狩教育局ですとか道教委に対して要望するなど働きかけをしていただきたいと思います。

この点についての教育長の考えを伺いたい。

教育長 現在、基礎的な学力を知る公的なテストなどはなく、各学校ごとに市販のテストなどを参考に、自校の学力状況等の把握に努めている。

教育委員会としても、学校関係者による当別の学校教育を考える会とい

うものを立ち上げるなどして、基礎学力の向上方を検討するとともに、校長会あるいは当別町学校教育研究推進協議会などを通して、この課題の取り組みの充実を働きかけていきたい。

さらに情報提供や研修機会の紹介、あるいは参加促進について取り組みを進めていきたい。

おります。

他の実例として、定期的に教員などを派遣して学習支援を行ない、校長の判断によって出席同様の扱いとしながら、学校復帰への支援も並行して行なう学習支援制度、ホームステディ制度を実施していますが、当別町として実施する考えについて伺いたい。

教育長 児童生徒の実態に寄り添いながら、登校、勉学への意欲に対応することは非常に大事なことであり、例えば学生のポ



基礎学力の向上にむけて検討を

ランティア活動なども含め、先生方の家庭訪問の回数を増やすなど、様々な対応を考えながら、その中でホームステディということも検討していきたい。

総合体育館ステージに

反響板の設置を

問 現在、当別町は財政難から文化センターの建設が凍結されていますが、一方で音楽・文化活動が盛んに展開をされています。

総合体育館のステージにつきましては反響構造になつていないため、質の高い文化活動ができづらいと聞いております。

そこで、文化センター建設までの支援策として移動式音響反射板を設置してはどうかと考えますが、その考えを伺いたい。

教育長 反響板の効果や、それによる活用状況、あるいは技術的なことなど、多くの関係者の意見を聞きながら研究していきたいと考えています。

環境基本条例の制定を  
問 埼玉県吹上町では環

境に優しいまちづくりを目指して、町民の健康で文化的な生活の確保を目的とし、基本的な考え方として、協力して循環型社会をつくり、将来の世代に継承するとしています。そして、すべてのものが環境への負荷を少なくするために昨年条例を制定し、今年度中に環境基本計画が策定されます。

町長が提唱しております美しいまち当別を創造するためにも、この条例制定は必要と考えますが、町長の考えを伺いたい。

町長 美しいまちづくりを進める上で環境政策は重要な課題であり、本町の恵まれた自然環境を大切な資源として活用すべく、今後の具体的な取り組みについて検討していきたい。そのためには環境政策推進の体制を整え、当面は地域から取り組む循環型社会形成のため、環境対策に向けた学習を中心に取り進め、環境施策の総合的推進をする上で、今後、条例制定を検討していきたい。

農業振興推進における  
農業特区の対応を問う



岡野喜代治 議員

町長

地域営農集団を推進していく

問 最近、農業をめぐる情勢が目まぐるしく動いている。なかでも農業政策では、総合規制改革会議や経済財政諮問会議などが農業経営の法人化や推進、各種要件の撤廃。

これらを求めた特区構想に対することで議論がなされている。  
その背景には食の安全の面で消費者の信頼を失ったこと、食糧自給率が目標に近づかないことなどがあると思う。かきかずの提言のなかで農業への異業種参入ととれるような構造改革特区が提言された。

特区の一定の規制の廃除後には秩序ある実施のために市町村の果たす役

割、責任は重い。

町の現況と今後の考え方

町長 特区で企業の参入、その可能性についていろいろなことを報道しているが、当別町としては今、それを申し出る意思はない。町で現在の農業者を中心として、農地を維持し、また発展させていくことを、行政と農業者と町民全体がその道を目指すべきだという考えである。具体的に当別の農業を持続させるために、地域農業ができる条件を満たすものとして、地域ごとの地域営農集団等を推進していく必要があるのではないかと思っている。



今後の農業情勢に町はどう対応していくのか

そういう集団は、必ず規模も拡大していけると思うし、当別町の農業を正常な形で発展させていく道につながるのではないかと

思います。また、リフレッシュ保育サービス、家庭保育などサービスについて町の現況と考え方を伺う。

当別町の子育て支援は

問 埼玉県吹上町で研修した中、昨今の少子化の中での子育てサポートシステムがあった。当別町では、平成十二年三月に子育て支援計画「のびのび子供プラン21」が策定されている。

町長 子育て支援計画は、健やかに成長できる環境づくりのため、家庭と学校と地域社会、そして企業、行政が連携を図りながら、概ね八歳までの児童を対象として、子育てに關係する事業をいろいろな関係機関や部署で実施している。よいプランづくりを絶えず見直



子育て支援事業の様子

しながら進めているところであり、かなり成果が上がっている。  
リフレッシュ保育については、ふとみ保育所で実施しており、ボランティア活動をされる方や公的な行事に参加する方、あるいは子育てに心身が疲労するという方のために一時的な保育をサポートするためにお預かりをするサービスをしている。

今後とも、子育てに關する事業については、より充実しながら、保護者に対して支援を怠りなく進めていきたい。

**職員の能力を生かすため  
本人申告制度の導入を**



小野 広実 議員

**町長**  
人事の方法の一つとして  
検討していきたい

**職場環境について**

問 職場には職場安全管理者が配置されているが、どのような役割をしているのか伺いたい。

また、組織として職員の健康管理に努めているのか伺いたい。

町長 職員の安全と健康を守るために、労働安全衛生法に基づき、衛生管理者一名を選任しており、快適な職場、安全環境の保全のために、技術的な指導事項を中心とした役割を担っている。

庁舎については、今年度、最少限度の塗装をやらせていただき、少しでも職員の心身の健康管理、働きやすい職場をつくることに万全を期して

**職員の健康管理について**

いきたい。

問 職員の健康管理については、全職員、総合診断、健康診断を実施しているが、最近は業務の複雑多岐さから、相当肉体的、精神的にも苦痛を感じている勤労者が多いということを考え、十二分に配慮していきたい。

**労使間について**

問 去る十一月二十五日の臨時議会で、職員の給与の条例等が改正され、

二年連続で給与等の引き下げがありました。職員組合として、国内の長引く不況により、農業、商工、建設業界の不況、官公庁の財政難等の現実を踏まえ、真摯に受けと

め、業務に励んでいるわけでありませう。

このようなことは町民は非常に敏感でありますし、町政の推進に対し、期待と不安が渦巻いている状況でないかと思うわけであります。

したがって、まさに労使双方は当別町の頭脳でありますから、町民のリーダーとして、そしてサポート役として今後におきましても、さらに業務運行の安定と町民へのサービス向上に努められ、正常な労使間がこれからも継続されますよう祈念して要望といたしたい。

**業務の合理化について**

問 本定例議会の初日において、補正予算の議案が議決をみた中で、庁内LAN整備導入事業がありました。

これはパソコン導入によって、業務に関する情報収集、さらには業務の簡素化、また、職員の知識の向上が図られ、正確かつ定速に町民サービスが提供できるシステムと思うが、そのパソコン

をさらに活用して、文書等の整理保管を積極的に推進するよう要望していきたい。

町長 IT化の推進については、行政も電子行政の時代であり、本議会で満場のご理解をいただいたことを受け、速やかに電子行政を進めていく。また、すぐれた才能を持つている職員がたくさんいるので、いろいろなことで職員が一番すぐれている面をできるだけ活用していく方法をとっていただきたいと考えている。

**本人申告制度について**

問 職員本人が自分の目標を持って、今後どのような仕事をやっていくか、どこかの課に行きたいか、あるいは、自分の能力を試してみたい等を記載した書類を管理者に提出することを本人申告制度であります。

こういう本人申告制度システムを導入して、職員の能力を生かしてはいるかと思うわけでありませうが、町長の見解をお伺いしたい。

町長 現在、職場の最高責任者として、二〇〇人以上いる職員の一人一人の才能、気心を十二分に掌握しておらず、就任以来、係長クラス、女性職員、新任職員、更には管理職との対話を繰り返し行ない、職員との意思の疎通を図るよう努めているところである。

してきた学部と全然関係のないところに配置されている職員の姿を見たりもしてきたので、潜在的な能力を最大限に発揮し、職場と町民の活性化につながるような人事を進めることに当たって、申告制度についても、その方法の一つとして検討していきたいと思っております。



今後とも町民サービスの向上を

当別町に過疎的地域を作らない  
積極的な施策を



高谷

茂 議員

町長

優良田園住宅の建設促進に  
関する基本方針を定めたい

当別高校農業科を  
学科変更し環境科に

問 当別高校農業科が当別の地であって期待され、当別の農業の下支えとなつているのか、現状は大変心もとない。農業の枠の中で考えても、今社会が求めている環境に

関連したカリキュラムを大幅に増していくとか、学科変更して北海道の環境の村の事業と連携し、フィールドワーカーや森を守り育てていく人材の育成といった当別高校の新しい独自性を持つた学科創設を道に提案していくべきである。

町長 当別高校農業科については、今や農業と大きく関連している環境の

村、環境問題、そういうものを取り入れた教育が実施されることを、道教委に提案したい。

道立の当別高校農業科が、環境の時代、食糧、エネルギーといった世界的に重要な課題について、そういう学問の領域で最先端を走るようにすることが当別町政に求められている課題であり、教育委員会の協力も得て、道教委に理解をしていただかなければならないことだと思つている。

町民に本当に喜ばれる  
道づくりを

問 厳しい財政状況の中で平成十四年度国土交通省は今までの道づくりを

四つの反省点でまとめ新たに「道の新ビジョン」として発表した。地方自治体の取り組みを積極的に反映したもので、量から質への転換、実際に使う国民のニーズを住民参加を取り入れて進める、全国一律、画一的な構造規格の廃止といったことが示されている。本町も計画化され二十年以上事業化できない幹線道路、

公共施設に通じる自転車歩行者専用道の可能性、袋路解消の認定基準の見直し、道の機能を明確に

し、一・五車線道路に見られる弾力的な構造の見直し、住宅地における通過車輛禁止の可能性、住民参画に基づく道路計画など新しい道づくりの計画を将来に向け立て直すべきである。

町長 国も今や道路が地域の住民、産業にどれだけ貢献しているかということを中心として反省し、国民に向かつて反省をするという姿勢が示されている。当別町の町道のあり方についても、住民のニーズに合った道路と



田園を求めて建てられた住宅

して大転換を図っていかなければならぬ。限られた予算の中で、しかも縮小せざるを得ない道路関連の予算の中では、どうしても住民のニーズに合った道路行政を進めていかなければならないと思つている。

人口計画について

問 市町村合併が全国的に進められている中で、当別町は二万人という人口で西尾私案の小規模町村の対象にはならないが分権に耐えられる基礎的自治体として魅力ある三万人の町になるため施策を展開することが急務である。町長の美しい町づくりはその切り口になると思うが、美しい町とは、結局当別町のどの地区においても過疎的な地区は作らない、すべての農地、防風林河川敷、雑木林から山林までもが有効に活用されている姿であり、市街地であれば、通りは無論裏庭小路、パンケ川の河川敷にいたるまで市街の隅々まで有効に活用されている姿である。優良田園住宅の基本方針の

早期策定もあわせ、町有財産の有効活用も含め、当別町の具体的な土地利用計画を町民に提示し施策を展開すべきである。

町長 当別町は、都市近郊にある地理的条件と良好な自然的環境があるので、他の町村にはない特色を生かし、全町の魅力ある「美しいまちづくり」の具体的な計画を早期に進め、どの地帯も過疎地をつくらぬまちづくりを進めていかなければならない。今や国民の大半が農村生活にあこがれを持つている中で、当別町は、ゆとりある生活をかなえる条件が満たされていると思うので、そういうニーズに応えるために、優良田園住宅の建設促進に関する基本方針を定めたいと思つている。

# 議会会議 出席一覧表

(平成14年1月～12月)  
○……出席 / ……欠席

議 会	本 会 議													常 任 委 員 会					特 別 委 員 会								
	3・8 第一回定例会	3・11 〃	3・18 〃	3・19 〃	3・20 〃	5・17 第二回定例会	6・24 第三回定例会	6・25 〃	6・26 〃	9・24 第四回定例会	9・25 〃	9・26 〃	11・25 第五回臨時会	12・10 第六回定例会	12・12 〃	12・13 〃	総務常任委員会 (12回開催)	産業常任委員会 (7回開催)	建設常任委員会 (9回開催)	文教厚生常任委員会 (11回開催)	議会運営委員会 (29回開催)	議会広報特別委員会 (8回開催)	特別委員会 (2回開催)	当別大通整備促進審査 (2回開催)	複線化促進特別委員会 (2回開催)	学園都市線電化・ 複線化促進特別委員会 (6回開催)	H14年度予算審査 (6回開催)
議員名																											
竹田 和雄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5				29						6	6
山田 明美	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			10		8						6	6
白木 和廣	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9			6	1					6	6
岡野喜代治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7				8						6	6
市川 正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9			6						6	6
桐井 信征	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9		29	8						6	6
小野 広実	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6				8						6	6
高谷 茂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			11	29		2					5	6
島田 裕司	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9		25	8				2		6	6
小寺 和昭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9			7						6	6
川村 勇	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6									2	5	6
林 義夫	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				11						1	3	1
木屋路喜一郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12									2	6	6
後藤 正洋	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12				28					2	6	5
前澤 昭治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		7						2			5	6
村上 弘志	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				11	27					2	6	6
田畑富美男	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11				29			2			6	6
湯浅 俊一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				11	28			2			6	
小武 正寿	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12							2			6	6
柏樹 正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12									2	6	6
千葉 莊康	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○				11	24			2			6	6
堀 梅治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		7			29			2			6	6
内海 英徳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7	4	7	5	28			2	2		6	6

※学園都市線電化・複線化促進特別委員会、当別大通整備促進審査特別委員会については、平成14年3月8日をもって、調査終了となっております。



(撮影:平出 理三郎 氏 提供)

春をじっと待ちわびる当別川

平成十三年八月に泉亭新町長が誕生し、北海道庁から助役を迎え、新町政のスタートが切られてから、早や、一年六カ月が過ぎようとしています。この間、「美しいまち当別をみんなで作る条例」が制定され、行政と町民が一丸となつて、推進されております。

私ども議会議員も四年の任期を、あと三カ月で終えようとしています。めまぐるしく変遷する世相の中で、私自身も時には、時代の流れに四苦八苦する場面もありました。

あ  
と  
が  
き

いずれにしても、町政の主役は町民であり、議会と町理事者は、車の両輪として、町民のために最大限の努力をすることが責務と考えて活動してまいりました。この議会だよりにつきましても、議会の真実の姿を、傍聴できなかった町民の皆様にお知らせする責任があります。そういう意味からも、今後、尚一層のご愛読を願うと共に皆様方のご意見をお待ちしております。

終わりに、厳寒の折、健康に留意され、新しい年が良い年であることを心よりご祈念いたします。  
議会広報特別委員会(市川)

私・の・好・き・な 川・下・の・冬